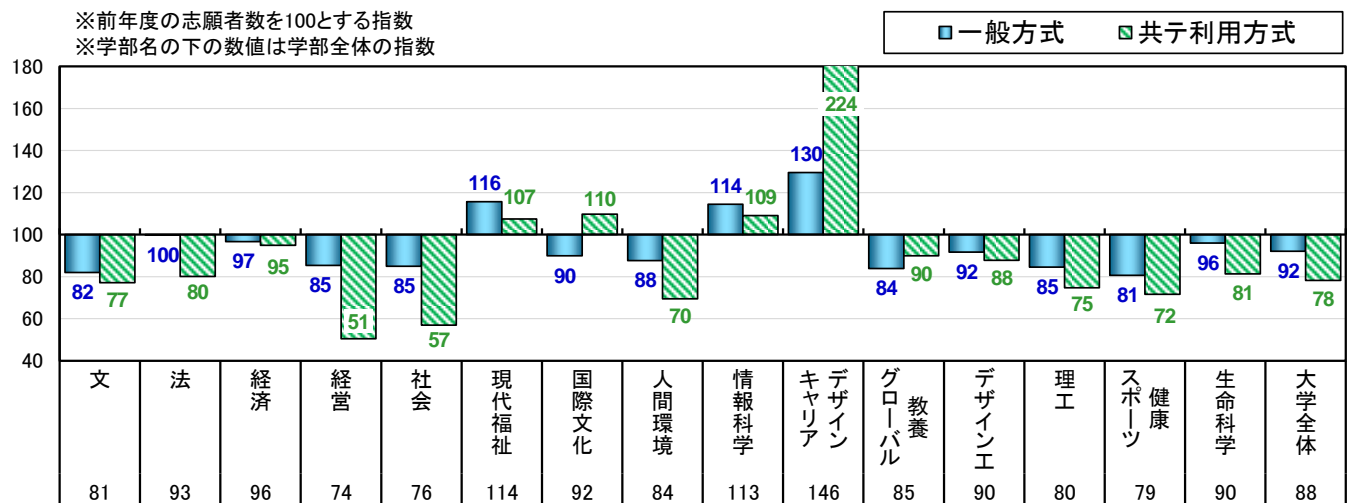


2021 年度入試状況分析【私立大】

法政大：大学全体では3年連続減少、15学部中12学部が減少

一般：-5,667人 共テ：-7,005人



入試変更点

選抜方法：出願要件として、「主体性」「多様な人々との協働性」についての経験の記入を求める
※合否判定には使用しない

＜英語外部試験利用＞対象試験変更：法(政治)、キャリアデザイン、グローバル教養以外
＜英語外部試験利用＞新規実施…法(政治)：募集人員：5人、利用方法：出願要件
キャリアデザイン：募集人員：5人、利用方法：出願要件
グローバル教養＜T日程＞…実施→廃止
＜英語外部試験利用＞…利用方法：出願要件→出願要件、得点換算、
＜共テ・B方式＞…出願資格に英語外部試験を追加

募集人員：法(政治)＜T日程＞…25人→20人
国際文化＜A方式＞…120人→123人
情報科学(コンピュータ科学)＜共テ・C方式＞…3人→5人
情報科学(デジタルメディア)＜共テ・C方式＞…3人→5人
キャリアデザイン＜共テ・B方式＞…20人→15人
グローバル教養＜英語外部試験利用＞…3人→12人
＜A方式＞26人→15人

入試科目：グローバル教養＜共テ・B方式＞…国+外+(歴公 or 数)→国+(歴公 or 数)
生命科学(応用植物科学)＜A方式＞…外+(数 or 理)※選択は高得点の1教科→数+理+外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、12,672人(88)の減少で3年連続減少。方式別では、一般方式(92)の減少、共通テスト利用方式(78)は2年連続大幅減少。一般方式の＜英語外部試験利用＞(132)は、キャリアデザイン、法(政治)の新規実施とグローバル教養の募集人員が4倍になったことで大幅増加だが、新規実施を除くと法(国際政治)(25)の激減が影響して、(100)の微減。学部別では、キャリアデザイン(146)、現代福祉(114)、情報科学(113)は増加したが、他の12学部は減少し、経営(74)、社会(76)、スポーツ健康(79)、理工(80)、文(81)、人間環境(84)、グローバル教養(85)は大幅減少。

＜一般方式＞

- 文(82)は、大幅減少で3年連続減少。学科別では、全ての学科で減少だが、特に(心理)(70)、史学(77)は20%を超える大幅減少で2年連続減少。
- 法(100)は、微減だが4年連続減少。学科別では、(法律)(111)は4年ぶりに増加。(国際政治)(101)は前年度並。方式別では、＜A方式＞(148)は大幅増加だが、＜英語外部試験利用＞(25)は激減、＜T日程＞(65)は大幅減少。一方で、(政治)(73)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済(97)は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(現代ビジネス)(88)は減少で4年連続減少、(経済)(97)もやや減少で3年連続減少。
- 経営(85)は、大幅減少で前年度の反動による増減が継続。学科別では、(市場経営)(104)は3年連続減少の反動は小さくやや増加に留まった。(経営)(78)は大幅減少で前年度の反動による増減が継続、(経営戦略)(88)は減少で2年連続減少。
- 社会(85)は、大幅減少で前年度の反動による増減が継続。学科別では、全てが減少で、(社会政策)(74)が前年度激増の反動で大幅減少、(メディア社会)(83)も大幅減少で2年連続減少、(社会)(96)はやや減少で2年連続減少。
- 現代福祉(116)は、2年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、(福祉コミュニティ)(136)は大幅増加で3年ぶりの増加。(臨床心理)(87)は減少で＜英語外部試験利用＞を導入した翌年の2017年度以降5年連続減少。
- 国際文化(90)は、減少で2年連続減少。方式別では、2方式とも減少。
- 人間環境(88)は、減少で2年連続減少。方式別では、3方式とも減少。
- 情報科学(114)は、系統への人気の高さもあって、増加で3年ぶりに増加。学科別では、(デジタルメディア)(124)は2年連続減少の反動で大幅増加、(コンピュータ科学)(108)は2年連続増加。
- キャリアデザイン(130)は、新規に＜英語外部試験利用＞を導入した影響で大幅増加だが、既存の2方式のみでは前年度並。
- グローバル教養(84)は、T日程を廃止したこともあって、大幅減少で3年連続減少。方式別では、＜英語外部試験利用＞(359)は募集人員を4倍にしたこともあり大幅増加。

2021 年度入試状況分析【私立大】

- デザイン工(92)は、減少で10年ぶりの減少。学科別では、(システムデザイン)(104)はやや増加だが、(都市環境デザイン工)(83)は大幅減少で前年度の反動による増減が継続、(建築)(90)は減少で2年連続減少。
- 理工(85)は、大幅減少で2年連続減少。学科・専攻別では、全てが減少で、(創生科学)(66)は大幅減少で5年ぶりに減少。
- スポーツ健康(81)は、系統への人気の低さも影響して、大幅減少で3年連続減少。
- 生命科学(96)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(生命機能)(92)は減少だが、(応用植物科学)(98)は微減、(環境応用化学)(101)は微増。

<共通テスト利用方式>

- 文(77)は、2年連続大幅減少。学科別では、(地理)(106)はやや増加で3年ぶりの増加、(日本文)(104)はやや増加で前年度大幅減少の反動は小さかった。その他の4学科はいずれも大幅減少。
- 法(80)は、大幅減少で2年連続減少。学科別でも、3学科全てで大幅減少。
- 経済(95)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(国際経済)(189)は前年度激減の反動で大幅増加、(経済)(111)は前年度半減以下の減少の反動から増加、(現代ビジネス)(25)は前年度大幅増加の反動から4分の1の激減で、前年度の反動による大幅増減が継続。
- 経営(51)は、前年度大幅増加の反動で半減近い大幅減少。学科別では、(経営)(106)は2年連続大幅減少の反動は小さくやや増加、(経営戦略)(13)は前年度5倍近い増加の反動で1割近くまで激減、(市場経営)(82)は2年連続大幅減少。
- 社会(57)は、大幅減少。学科別では、(メディア社会)(112)は前年度半減以下の大幅減少の反動で増加、(社会政策)(24)は前年度4倍近い激増の反動から4分の1以下の激減、(社会)(80)は2年連続大幅減少。
- 現代福祉(107)は、前年度半減の反動は小さくやや増加。学科別では、(福祉コミュニティ)(152)は前年度3割以下の激減の反動で大幅増加、(臨床心理)(77)は大幅減少で4年連続減少。
- 国際文化(110)は、増加で前年度の反動による増減が継続。
- 人間環境(70)は、前年度減少の反動はなく2年連続大幅減少。
- 情報科学(109)は、前年度減少の反動から増加。学科別では、(デジタルメディア)(122)は大幅増加で3年ぶりの増加、(コンピュータ科学)(101)は前年度並。
- キャリアデザイン(224)は、2倍を超える激増で、前年度の反動による増減が継続。方式別では、<共テ・B方式>(287)が前年度激減の反動で激増、<共テ・C方式>(62)は前年度大幅増加の反動で大幅減少と対照的。
- グローバル教養(90)は、減少で2年連続減少。
- 理工(75)は、大幅減少で2年連続減少。学科・専修別では、全てが減少で、(創生科学)(44)は前年度激増の反動で半減以下の激減。
- スポーツ健康(72)は、系統への人気の低さも影響して、大幅減少で4年連続減少。
- 生命科学(81)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(生命機能)(77)が前年度大幅増加の反動から大幅減少、(応用植物科学)(77)は大幅減少で4年連続減少。